

学校教育目標

志を持ち夢の実現に挑戦する、自立する人づくり

ふるさと赤穂を想い、夢の実現への気概あふれる学校をめざして

めざす生徒像〔校訓〕

- 明けく 〔公明正大で、切磋琢磨して学習に真剣に取り組む生徒〕
浄く 〔心や行いがきれいで、正しい行動ができる生徒〕
直く 〔素直で誠実な生徒〕

めざす教師像

- I 人権感覚を磨き、生徒一人ひとりを大切にする教職員
II 生徒の自律と学力向上を願い、工夫と改善に努める教職員
III 生徒の心に寄り添い、成長や発達を常に温かく支える教職員
IV 生徒の意欲や可能性を伸ばし、互いの自己有用感を高める教職員
V 自分を磨き、更なる高みを志向して、怯まず自己変革できる教職員

学校経営の基本方針

- 1 人権への知的理解と人権感覚の涵養を基盤に、自己の大切さと共に他者の大切さを認めることができる生徒を育成し、すべての生徒が安心して学び、活動ができる学校環境〔人・物・心〕をつくる。
- 2 「確かな学力」を育むため、授業公開や研究協議を通して、「主体的・対話的で深い学び」実現への工夫と改善に努め、教育活動の質的向上をめざす。また、個々の生徒の学力把握に務め、つまずきの解消や系統性を重視した指導を推進する。
- 3 特別支援教育の充実を図り、すべての生徒が互いに認め合い、生き生きと学べる環境をつくる。個別の教育支援計画・指導計画を活用し、切れ目のない一貫した支援に努める。
- 4 生徒が互いの個性を認め合う共感的な学級づくりを推進し、一人一人が自己有用感を感じながら、主体的に気づき、考え、実行できる自律した生徒の育成を図る。
- 5 生徒会活動を軸とした取り組みの中で、自主的活動や仲間づくりへの意欲を喚起させ、感謝と思いやりの心を育みつつ、支え合い、高め合う集団への進化を目指す。
- 6 様々な視点から生徒理解を深め、心に寄り添った支援を通して、生徒に自己指導能力の伸長を図る。課題を抱える生徒には、教職員のチームワーク、保護者や関係機関との協働・連携によってその成長を支える。
- 7 福祉活動やJRC活動、地域行事への参加など、地域に貢献し、活躍する中での生徒の育成をめざす。また、学校情報の発信、地域団体との連携、オープンスクールの拡充、地域人材の活用など、地域に愛される学校として、地域に根ざした教育活動を推進する。
- 8 報告・連絡・相談を徹底し、日頃から風通しの良い情報共有の風土を醸成する。その上で、問題発生時等に迅速かつ適切に、配慮ある対応をする学校組織の確立を目指す。